

大統領ハーデン **日本人船員を庇護す**

同様の事件が三回発生した。第一次は1901年8月、第二次は1902年1月、第三次は1903年3月である。

第一次の事件は、1901年8月に、アラスカの海岸で、船員が殺害された事件である。

第二次の事件は、1902年1月に、チリの海岸で、船員が殺害された事件である。

第三次の事件は、1903年3月に、チリの海岸で、船員が殺害された事件である。

このように、三次の事件が連続して発生した。

日本は指導者の役目

日本は、大統領ハーデンの命令により、船員を庇護する方針をとった。

この方針は、大統領ハーデンの「人道主義」に基づいていた。

人道主義とは、人間の命や権利を尊重する思想である。

この方針は、世界中の国々が尊重する方針である。

大阪朝日 **故國新聞** **大艦巨砲主義は最早時代遅れ**

大艦巨砲主義は、世界中の國々が尊重する方針である。

この方針は、人間の命や権利を尊重する思想である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

王府 **大阪朝日** **故國新聞** **大艦巨砲主義は最早時代遅れ**

大艦巨砲主義は、世界中の國々が尊重する方針である。

この方針は、人間の命や権利を尊重する思想である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

正 **株式会社** **日本政府發行行** **第八回母國觀光團員募集**

日本政府は、大艦巨砲主義を主張する方針である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

公債式 **日本政府發行行** **第八回母國觀光團員募集**

日本政府は、大艦巨砲主義を主張する方針である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

この方針は、世界中の國々が尊重する方針である。

